

業種別景況予測

平成29年7月～9月

| |  |  |  |  |  |  |
|--------------|---|---|---|---|---|---|
| | 特に好調 | 好調 | まあまあ | やや不振 | 不振 | きわめて不振 |
| 部会 | 4～6月 (実績) | 7～9月 (見通し) | 概況 | | | |
| 寝装 リビング |  |  | 「4月からのアクリルニトリル高騰による原綿・原糸の値上げもあり主流が他の素材に変わる傾向」「前途全くの不透明である」「競争力のある企業は徐々に売上が伸びる可能性がある」とのコメントが寄せられた。 | | | |
| 繊維 ファッション |  |  | 「損益分岐点を上回る売上が続かず、市場は沈滞のまま」「毎年売上が減少している」「売上に占める人件費の割合が高くなっている」「全国平均との景況の差が縮まらない」「今まで以上に商品開発とマーケット開拓が必要」とのコメントが寄せられた。 | | | |
| 工業 |  |  | 「仕入価格、人件費などどんどん上昇したが売上高も上昇しているので利益はなんとか確保できている。しかし、抜本的な改善になっていない」「海外との取引を増やしていきたい」「製品販売価格の値上げに取り組むべき」とのコメントが寄せられた。 | | | |
| 建設 |  |  | 「同業社の減少により大手企業より見積依頼また従来の営業エリア外からの受注を受けている」「設備投資が鈍化している。必要最小限のメンテナンス工事のみの受注となっている」「新規契約が増加しているが改修工事が多い」「人件費や外注費の上昇で、利益の確保が困難」とのコメントが寄せられた。 | | | |
| 運輸倉庫 |  |  | 「輸出貨物の輸送量については増加傾向である」「荷動き低迷で経営が苦しい業者が増えている」「人材不足の状況は変わらず。そのような中でも、時間短縮への取組みは今後ますます加速していくと思われる」「加工付きの荷物が多く、それらに対応し、大手と差別化を図る必要がある」とのコメントが寄せられた。 | | | |
| 金融理財 |  |  | 保険業からは「自然災害(ゲリラ・集中豪雨)等が続き、保険会社も支払い増で暗雲が立ちこめている」「損害保険より生命保険に力を入れる」。土業からは「建設業許可申請が例年より多い」「遺言公正証書作成も相変わらず多い」「顧客からの値引き要請が増加している」とのコメントが寄せられた。 | | | |
| 一般商業 |  |  | 「少子化により1家族当たりの消費量が減ってきている(食料品)」「購入よりレンタルが好調である(呉服)」「大手スーパーや量販店の進出で、来店者が少なくなっている(生花)」とのコメントが寄せられた。 | | | |
| サービス業 |  |  | 介護業からは「現状の収益は上がっている」。飲食業からは「近隣にコンビニなどが増えているため安価でコーヒーが飲めてしまう」。スクール業からは「シニア向けよりジュニア向け商品が好調である」。全体的に「人手不足である」とのコメントが寄せられた。 | | | |

(調査概要) ●調査実施 平成29年7月 ●調査対象企業 259社 ●回答数119社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にしていただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 中小企業相談所 TEL 0725-23-1111